

北見市における景気動向調査報告書

< 第 IV 四 半 期 >

北 見 商 工 会 議 所

I. 調 査 要 領

1. 調査時点及び調査対象期間

(1) 調査時点 平成24年4月13日

(2) 調査対象期間 平成24年1月～3月期実績および平成24年4月～6月期見通しについて調査した。

2. 調査対象

北見市に所在する企業を対象に、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種150社を往復ハガキにより調査した。

3. 回収状況

業種 \ 企業数	対象企業数	回答企業数	回答率
製造業	30社	21社	70.0%
建設業	30社	25社	83.3%
卸売業	30社	23社	76.7%
小売業	35社	21社	60.0%
サービス業	25社	18社	72.0%
合計	150社	108社	72.0%

注) 本調査結果の中で、D・I値とある記号は、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)で好転企業割合から悪化企業割合を差し引いた値を示す

II . 概 況

《 全 体 の 動 き 》

平成23年度第IV四半期平成24年<1月～3月>の北見市における業況は、前年比で「好転企業」20.4、「悪化企業」49.1、「好転」から「悪化」を差し引いたD・I値は△28.7となっています。

このD・I値を前年同期と比較してみると、前年同期△35.2→今期△28.7と6.5ポイントの好転傾向を示しています。一方、前期調査<23年度第III四半期>(平成23年10月～12月)との比較では、前期△11.0→今期△28.7と17.7ポイントの悪化傾向を示しています。

今回の業況を業種別で見ると、製造業D・I値△33.7、建設業D・I値△28.0、卸売業D・I値△17.4、小売業D・I値△38.1、サービス業D・I値△27.8となっており、前年同期と比較すると、建設業で22.1ポイント、サービス業で19.5ポイント、小売業で9.9ポイント好転を示した一方、製造業で10.6ポイント、卸売業で8.7ポイント悪化を示しました。好転業種も含め未だ全業種マイナス値となっており、一部改善の動きが見られるものの、厳しい状況が伺えます。

また、来期の見通しを全業種で見ると「好転企業」18.5%、「悪化企業」44.5%でD・I値△26.0%と、前年同期見通し(△44.2)に比べ18.2ポイントの好転傾向を示しています。この要因としては、前年同期調査時に東日本大震災による影響を懸念した事業所が多数ありマイナス値が高かったため、前年より若干改善傾向にあるということが考えられます。しかし、マイナス値は決して低くなく、来期も厳しい見通しとなっています。

《 業 種 別 の 動 き 》

1) 製 造 業

生産高

前年比で「増加企業」19.1%、「減少企業」33.3%、D・I値△14.2と前年同期に比べ17.7ポイントの好転傾向を示しました。

採 算

前年比で「好転企業」19.1%、「悪化企業」33.3%、D・I値△14.2と前年同期より0.5ポイント悪化とほぼ横ばいの結果となりました。

来期見通し

業況D・I値△28.6、生産高D・I値△28.5、資金繰りD・I値△19.0と、前年同期に比べ全てのD・I値が好転を示しました。

2) 建 設 業

完成工事高

前年比で「増加企業」16.0%、「減少企業」40.0%、D・I値△24.0と前年同期に比べ26.1ポイントの好転傾向を示しています。

採 算 前年比で「好転企業」25.0%、「悪化企業」29.2%
D・I値△4.2と前年同期に比べ41.2ポイントの大幅な
好転傾向を示しています。

来期見通し 業況D・I値△32.0、完成工事高D・I値△32.0、
資金繰りD・I値△12.0と、前年同期の来期見通しと比べ
業況・資金繰りで改善傾向を示したものの、完成工事高では悪
化となりました。

3) 卸売業

売 上 高 前年比で「増加企業」26.1%「減少企業」30.4%、
D・I値△4.3と前年同期に比べ13.0ポイントの好転傾
向を示しています。

採 算 前年比で「好転企業」17.4%、「悪化企業」43.5%、
D・I値△26.1と前年同期に比べ30.5ポイントの大幅
な悪化傾向を示し、前年プラス値からマイナス値に転じる結果
となりました。

来期見通し 業況D・I値△13.1、売上高D・I値△8.7、資金
繰りD・I値△8.6と、前年同期に比べ業況、売上高では好
転となりましたが、資金繰りではプラスからマイナスに転じる
結果となりました。

4) 小売業

売 上 高 前年比で「増加企業」28.6%「減少企業」57.1%、
D・I値△28.5と前年同期と比べて15.5ポイントの好
転傾向を示しています。

採 算 前年比で「好転企業」19.1%「悪化企業」47.6%、
D・I値△28.5と前年同期と比べ11.5ポイントの好転
となりました。

来期見通し 業況D・I値△19.1、売上高D・I値△19.1、資金
繰りD・I値△9.5と前年同期と比べ、全てのD・I値で
30～40ポイントの大幅な好転傾向を示しました。

5) サービス業

売上高

前年比で「増加企業」33.3%、「減少企業」50.0%、D・I値△16.7と前年同期と比べ25.4ポイントの好転傾向を示しました。

採算

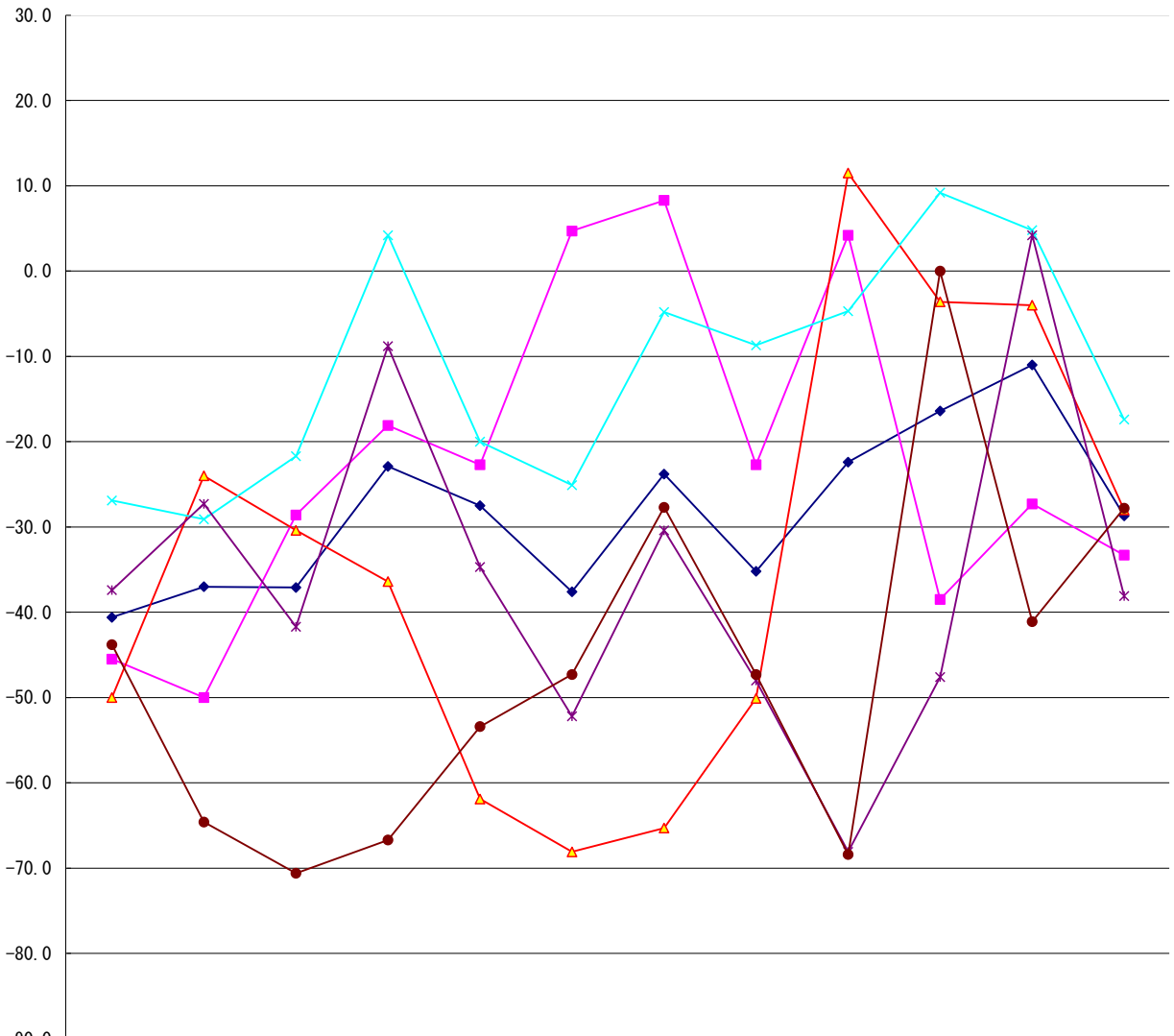
前年比で「好転企業」29.4%、「悪化企業」53.0%、D・I値△23.6と前年同期と比べ29.0ポイントの好転傾向を示しました。

来期見通し

業況D・I値△38.9、売上高D・I値△38.9、資金繰りD・I値△33.3と、前年同期と比べ全ての項目で好転しており、前年の50ポイントを超えるマイナス値から改善が見られました。

業況（前年同期比）

◆ 全業種
 ■ 製造業
 ▲ 建設業
 ✕ 卸売業
 ✱ 小売業
 ● サービス業



	21.4~6 21年度I	21.7~9 21年度II	21.10~12 21年度III	22.1~3 21年度IV	22.4~6 22年度I	22.7~9 22年度II	22.10~12 22年度III	23.1~3 22年度IV	23.4~6 23年度I	23.7~9 23年度II	23.10~12 23年度III	24.1~3 23年度IV
◆ 全業種	-40.6	-37.0	-37.1	-22.9	-27.5	-37.6	-23.8	-35.2	-22.4	-16.4	-11.0	-28.7
■ 製造業	-45.5	-50.0	-28.6	-18.1	-22.7	4.7	8.3	-22.7	4.2	-38.5	-27.3	-33.3
▲ 建設業	-50.0	-24.0	-30.4	-36.4	-61.9	-68.1	-65.3	-50.1	11.5	-3.6	-4.0	-28.0
✕ 卸売業	-26.9	-29.1	-21.7	4.2	-20.0	-25.1	-4.8	-8.7	-4.7	9.2	4.8	-17.4
✱ 小売業	-37.4	-27.3	-41.7	-8.8	-34.7	-52.2	-30.4	-48.0	-68.1	-47.6	4.2	-38.1
● サービス業	-43.8	-64.6	-70.6	-66.7	-53.4	-47.3	-27.7	-47.3	-68.4	0.0	-41.1	-27.8

業 種 別 経 営 上 の 問 題 点

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
製 造 業	得 意 先 減 少	諸 経 費 増	同業者間の競合	人 材 不 足	人 件 費 増
建 設 業	同業者間の競合	諸 経 費 増	得 意 先 減 少	人 材 不 足	人 件 費 増
卸 売 業	得 意 先 減 少	同業者間の競合	諸 経 費 増	人 材 不 足	売 掛 金 回 収 難
小 売 業	同業者間の競合	諸 経 費 増	得 意 先 減 少	人 材 不 足	売 掛 金 回 収 難
サービ業	同業者間の競合	諸 経 費 増	得 意 先 減 少	人 件 費 増	該 当 な し
合 計	同業者間の競合	諸 経 費 増	得 意 先 減 少	人 材 不 足	人 件 費 増

※ 問題点は、各業種とも3つ選択。

合計で「同業者間の競合」がトップとなり、前年同期調査時トップだった「得意先減少」は3位となった。また「諸経費増」は今回2位となり、前年より増加している。業種別では「同業者間の競合」が建設、小売、サービス業でトップとなり、前年全ての業種で1位若しくは2位となっていた「得意先減少」は減少の結果となった。

※なお、サービス業は1～4位以外の全ての項目が0票のため、該当なし。

※その他及び具体的な業界の問題点の記載事項

- (建設) ○好転に向かう兆しが見えて来ない。元請の競争が依然激しい (板金)
- 工事単価の下落 (電気工事)
- (卸売) ○テレビ宣伝、通信販売等で得意先減少。努力とアイデアで乗りきるしかない (化粧品)
- 低価格競争による利益の減少 (種苗・肥料・農薬農業資材)
- 単価の上昇で売上は増加しているが、利益に反映されない (石油製品)
- 大手業者との競合で売上利益率が減少、
- (小売) ○道内の同業者も昨年末から3月にかけて2店廃業になり、
大変厳しい状況が続いている (画材)

業況

- 製造業 ⇒ 好転（該当なし）
悪化（印刷）
- 建設業 ⇒ 好転（電気工事、一般住宅建築、一般土木・給排水・衛生・暖冷房）
悪化（舗装・一般土木、建築、土木・建築、塗装）
- 卸売業 ⇒ 好転（製菓原材料機器、化粧品・理美容器具、事務機器・事務用品）
悪化（青果物委託販売、食品）
- 小売業 ⇒ 好転（自動車、和洋菓子、家具、）
悪化（酒類、衣料品、農業機器、画材、生鮮食品）
- サービス業 ⇒ 好転（自動車賃貸）
悪化（ホテル（宴会・宿泊）、理容、弁当仕出）

※太字アンダーライン表示は重複該当業種